



## 藻場・干潟の保全・再生等の里海づくりの推進

環境省 水・大気環境局 海洋環境課  
海域環境管理室



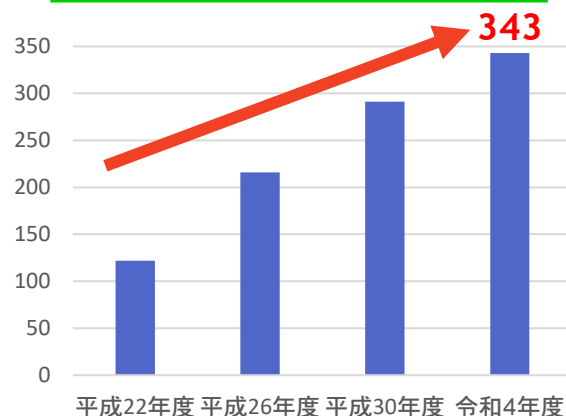
# 里海づくり活動に関するアンケート調査

- 「里海づくり」の考え方を取り入れた沿岸域の水環境の保全・再生等に関する取組の実施状況を把握するため、令和4年度に自治体、NPO法人、漁業関係者等を対象にしたアンケート調査を実施し、令和5年12月公表。（「令和4 里海づくり 状況調査」で検索）

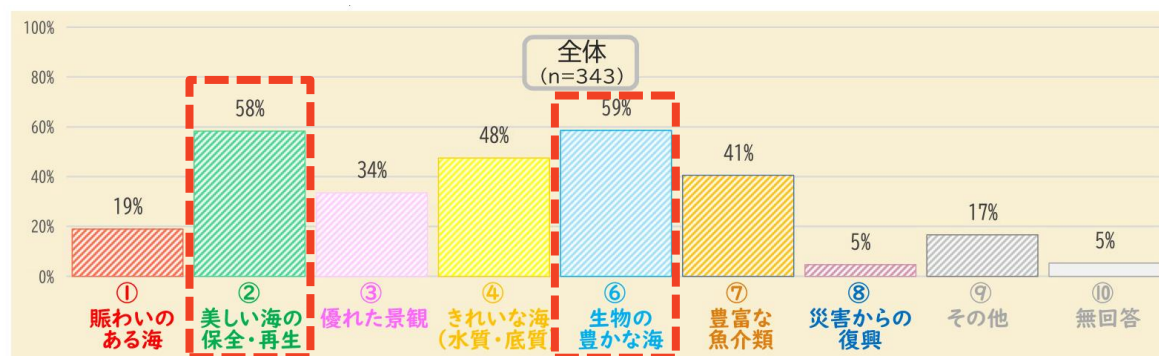
## 結果概要

- 全国の里海づくり活動事例は343例（H30は291例）。
- 活動の目的は、「美しい海の保全・再生」、「生物の豊かな海」が多く、美しい・豊かが活動のモチベーション。
- 活動における課題では、人的資源に関わる課題が多い。
- その他、「専門知識の不足」や「効果把握ができていない」といった観点の課題も多くみられた。

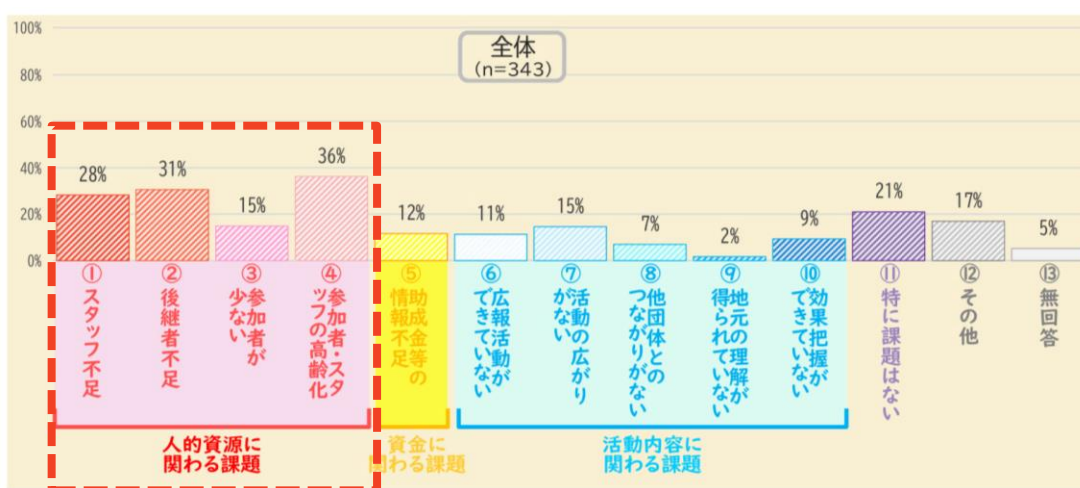
## 里海づくり活動事例数の推移



## 里海づくり活動の目的（複数回答可）



## 里海づくり活動における課題（複数回答可）



# 生物多様性の危機

## 国内の生物多様性を巡る現状

### ①開発など人間活動による危機

森林伐採、乱獲など人が引き起こす負の要因による影響

熱帯雨林の破壊



### ②自然に対する働きかけの縮小による危機

人手によって維持されてきた里地里山の管理不足、鳥獣による被害の深刻化

耕作放棄、里山放棄



### ③人間により持ち込まれたものによる危機

外来種、化学物質など人間により外部から持ち込まれたものによる影響



アライグマ

### ④地球環境の変化による危機

地球温暖化、巨大台風の頻度の増加などの気候変動など地球環境の変化による影響



## 世界の生物多様性の現状

(IPBES報告書2019)

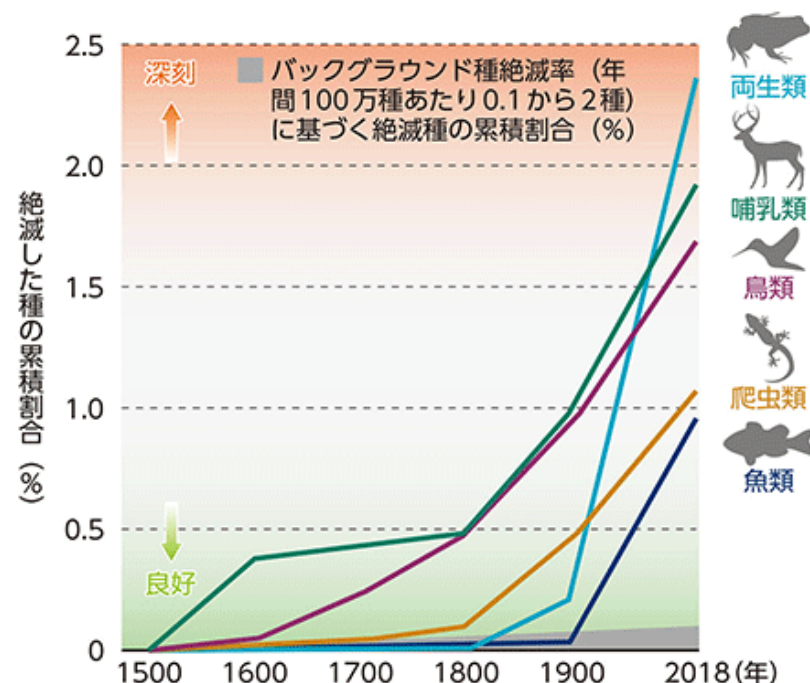
- 絶滅速度は過去100年間で急上昇。
- 地球上に590万種いると推定されている陸上生物のおよそ9%（約50万種）の種は、生息地の再生がなければ、今後数10年の間に絶滅する可能性がある。

第6の大量絶滅期とも言われる

サーティー バイ サーティー

# 30 by 30

2030年までに陸と海の30%以上を保全する  
世界目標



注：1500年以降の脊椎動物の絶滅種の割合。爬虫類と魚類の割合は全種評価に基づくものではない。

資料：IPBESの地球規模評価報告書政策決定者向け要約より環境省作成

# 自然共生サイトの認定

- ネイチャーポジティブの実現に向け、民間等による活動を促進することが重要。
- 民間等の活動によって生物多様性の保全が図られている区域（森林、里地里山、都市の緑地、沿岸域等）を「**自然共生サイト**」として認定する仕組みを開始。
- 現在までに**253か所を認定**。認定された区域のうち、保護地域との重複を除いた区域は「**OECD（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）**」として国際データベースに登録。
- 自然共生サイト等のネイチャーポジティブに向けた民間等の活動をさらに促進するため、「**地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律**」が令和6年4月12日に成立。

## 自然共生サイトの例



# 「令和の里海づくり」モデル事業

- 令和4年度、令和5年度（12件（応募22件））に引き続き、「**藻場・干潟等の保全・再生・創出**と**地域資源の利活用**」の好循環を生み出すことを目指し、令和6年度は**19件を選定（応募40件）**。
- 全国各地で取り組まれている里海づくりのモデルとなる事業を**伴走支援により創出し**、国内の沿岸域の再生に資する**里海づくりの活性化を促進**し、人と海の**つながり等を再生・創出**。
- さらに、**自然共生サイト認定**、自然海浜保全地区の指定、脱炭素社会の促進（ブルーカーボン）、森里川海の連環、資源循環、海洋人材の育成など、複数分野の**統合的アプローチも目指す**。



里海 × 海洋教育  
(提供：おおつき里海づくり協議会)

テングサ藻場の造成やアオリイカのオーナー制度（資金調達）を通じて、海洋教育（小学生の体験機会を創出）を実践。さらに地域内外に、里海づくりの現状を発信。



里海 × ブルーカーボン  
(提供：新庄漁業協同組合)

地域の特産品でもあり、ブルーカーボンにも資する養殖ヒロメ（効率的な養殖技術開発等含む）を活用した新たな商品、エコツアーづくり。事業価値が評価され企業の投資も呼び込む。



里海 × 生物調査  
(提供：荒川クリーンエイド・フォーラム)

トビハゼをシンボルとし、モニタリング調査や保全活動などを実施。今後の活動の担い手となる人材育成を目的とした東京湾の干潟保全プログラムを作成。



里海 × アイゴ利用  
(提供：防府市藻場造成による豊かな里海づくり協議会)  
(令和5年度 令和の里海づくりモデル事業による成果の一部；様々な地域資源を活用した例として)

独自開発したカゴ網「アイゴホイホイ」を使ってアイゴ（藻食性魚類）を捕獲。食材としての活用モデルも開発しながらエコツアーも活用しつつ、磯焼け対策を実践。

# (参考) 令和6年度「令和の里海づくり」モデル事業 選定団体一覧

|    | 活動場所         | 実施団体                                 | 事業名                                                                |
|----|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1  | 北海道函館市       | 株式会社WMI                              | 地域コミュニティの連携した環境適応型藻場づくりと持続可能な藻場再生モデルの開発                            |
| 2  | 青森県青森市       | 特定非営利活動法人あおりみなとクラブ                   | 陸奥湾における「まちなか」「リゾート地」「漁村」の里海づくりモデル事業                                |
| 3  | 岩手県上閉伊郡      | NPO法人おおつちのあそび                        | おらが海を町の財産に ～官民協働で町の産業を活性化する持続可能な藻場再生活動～                            |
| 4  | 宮城県松島町       | 特定非営利活動法人環境生態工学研究所                   | 松島アマモリボーンプロジェクト                                                    |
| 5  | 神奈川県三浦郡      | 公益財団法人地球環境戦略研究機関                     | ブルーカーボンの保全・モニタリングを通じ地元環境学習の機会増加と海辺のにぎわいづくり                         |
| 6  | 静岡県熱海市       | ブルーカーボンプロジェクト推進協議会                   | 熱海港内および近隣海域における藻場創出実証試験と持続可能な里海づくりにむけた地域資源の好循環形成                   |
| 7  | 三重県四日市市      | 一般社団法人ネクストステップ研究会                    | 市民によるアサリの育成を通じた四日市の豊かな里海づくり事業                                      |
| 8  | 大阪府堺市        | 一般財団法人環境事業協会                         | “海の万博”が開催される大阪湾奥部と人・街を“つなぐ”プロジェクト                                  |
| 9  | 岡山県玉野市       | 公益社団法人玉野市観光協会                        | 未利用魚・低利用魚を食材とした特産品開発及び販売による観光エコシステム醸成事業                            |
| 10 | 岡山県備前市       | 日生町漁業協同組合                            | 地域資源であるカキ殻を利用した里海の創造（カキ殻散布による里海づくり）                                |
| 11 | 広島県尾道市       | 尾道東部漁業協同組合                           | “里海”松永湾バージョンアッププロジェクト                                              |
| 12 | 山口県防府市       | 防府市藻場造成による豊かな里海づくり協議会                | eDNAを活用した食害被害調査及び多様な里海のフィールドづくりプロジェクト                              |
| 13 | 愛媛県八幡浜市      | 一般社団法人地方創生機構                         | 地域の企業・団体と連携した「藻場BANK（増殖礁）造成」と、地域と未来を切り拓く人材を育む「学べる体験型プログラムの開発・実証事業」 |
| 14 | 高知県幡多郡       | おおつき里海づくり協議会                         | 森川里海を一体として捉えた藻場再生と里海教育の充実                                          |
| 15 | 福岡県福岡市       | 一般社団法人ふくおかFUN                        | 「博多湾里海プロジェクト」～人の営みと自然が調和する海へ～                                      |
| 16 | 福岡県宗像市       | 宗像市                                  | 【宗像ウニプロジェクト】駆除ウニを活用した藻場再生促進・普及啓発プロジェクト                             |
| 17 | 佐賀県唐津市       | NPO法人玄海灘を守り育てる会                      | 未来に繋げ、体験ツアー実証とモニタリング調査による「ヒト・モノ・資金」の好循環連携体制づくり                     |
| 18 | 熊本県天草市<br>ほか | 公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金<br>株式会社 肥後銀行    | 八代海沿岸域における産官学金連携による広域的・持続可能なアマモ場再生支援体制構築事業                         |
| 19 | 鹿児島県指宿市      | 山川町漁業協同組合<br>指宿市山川地区ブルーカーボンプロジェクト協議会 | 山川の海のゆりかご-持続的な漁業経営と環境保全の共生にかかるモデルケース構築-                            |

※事業名は応募時点のものであり、事業実施にあたって変更される場合があります。

# 里海づくりにより目指すもの

- 里海づくりを推進し、藻場・干潟等の保全・再生・創出等と地域資源の利活用等の好循環を創出し、海域の生物多様性・生産性の向上やヒト、モノ、カネの確保につなげる。

藻場・干潟の  
保全・再生・創出

海域環境  
保全

・ヒト、モノ、カネの確保

里海づくり

・海域の生物多様性・生産性の向上  
・ウェルビーイング基盤の良好な環境を  
創出

・OECDやブルーカーボンの認定  
・企業等による支援  
・特産品、ツアーなどの商品開発

# 里海づくり活動の支援（一部検討中）

- 地域の里海づくりを推進するため、R7以降は一層多方面支援をしていく。
- 支援の内容は以下を想定。なお、現在実施中の「今後の里海づくりのあり方検討会」にて取りまとめる「今後の里海づくりのあり方に関する提言（仮称）」を踏まえ検討していく。

## ①資金・技術的な支援

### 里海づくりモデル事業

R4から実施。保全と利活用の好循環の創出を目的に、地域と連携して好事例を作り上げる。R7からは発展事業として実施予定。

### 多様な主体との連携

地域の里海づくりの支援者になりうる企業、団体等との連携を強化し、地域の持続可能な里海づくりを推進。

## ②技術的な支援

### 里海づくりの手引書

H23に里海づくりの“いろは”として整理。「今後の里海づくりのあり方検討会」の議論を踏まえて、内容の充実を図る予定。

## ③情報共有の場の提供

### 里海ネットワーク（仮称）

里海づくりに取り組む者同士の知見等の情報共有が目的。また、支援者等とのマッチングの場としての機能も加える予定。

## ④認定・PR

### 自然共生サイト

里海づくりに取り組む地域の「自然共生サイト（生物多様性の価値が評価された場所）」認定を後押し。それにより地域の付加価値を向上。

### 取組の紹介

認定等により価値付けを行った場所を、環境省としてPR。地域からの発信だけでなく、環境省からもPRすることで、一層の認知向上に繋げる。